

令和7年度 丹波篠山市立西紀南小学校 学習や生活に関する向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査(6年生)と丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(5年生)、生活習慣状況調査(3~6年)の結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。学力の定着状況をご確認いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善にご協力をお願いします。

【調査結果の概要、課題と対応】

<国語>

全体的には、全国平均を上回っていました。6年生は全国平均を10ポイント以上上回っていました。

5年生は、「漢字を読む」「話し合いの内容を聞き取る」等の問題の正答率が高い結果になっていました。また無回答がなく、真摯に問題に取り組む態度が見られました。反対に、「漢字を書く」問題や「目的を意識して伝えたいことを明確にして書く」などの「条件付きの作文」の問題に課題がみられました。

6年生はどの分野も高い正答率でした。平均は上回っているものの、複数の資料を読み、それぞれの資料の内容を読み取って答える問題が苦手な傾向がみられました。

対応としては、漢字の宿題で反復練習をしたり、漢字テストを行って定着を確認したりします。授業や「朝のスキルタイム」などを利用して条件付き作文に取り組ませるなど、書く活動を充実させていきます。読書や本読みを習慣化し、長文を読む習慣をつけていきます。

<算数>

5年生は、市平均は大きく上回っていました。6年生は全国平均を10ポイント以上上回っていました。

5年生は、「面積を求める」「小数点の移動」の問題の正答率が高い結果になっていました。「作図」や「割合」の正答率が低く、「角度」の問題では、無回答が多い結果になっていました。

6年生は、基本の問題が正答率が高く、日頃から学習に対する姿勢の良さが伺えます。しかし、10%増量を1.1倍ではなく、0.1倍と考えるなど、『もとにする数』の意味が理解できていなかったり、数直線上に示された数を分数で表すことができなかつたりするなど、数量感覚が弱い傾向が見られました。

対応としては、数の概念の理解や計算力等の基礎基本の定着をはかります。そのうえで、論理的思考や作図など、課題となっている単元や問題について授業を工夫したり、復習に取り組んだりしていきます。

<生活習慣状況調査>

全体的に、「学級の絆」「学級の規範意識」「先生のささえ」についてのポイントが高い結果になりました。集団生活の中で、きちんとルールを守ろうという意識が高く、友達となかよく助け合おうとする学級の雰囲気を感じられました。また、教師に対する信頼度も高く、教室で安心して学習や生活ができている児童が多くいると思われます。

一方で、学習時間が短かたり、疑問に思ったことを調べる意欲や学習意欲が低かたりする傾向があります。インターネットをしたり、ゲームをする時間が多く、就寝時刻が遅い児童も高学年になるにつれて増加しています。そのため、自分で朝起きたり、明日の用意を前日に用意したりすることが難しい児童も一定数おり、生活習慣の定着に差が見られます。

本校では、みなみん生活習慣としてご家庭と手を携え、子どもたちの生活を見つめていく取組を進めており、今後も継続していきたいと思えます。

【保護者・校区の方へお願い】

本プランを提案したねらいは、児童の実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力・生活習慣の向上に取り組むことにあります。良い結果も出ていますので、引き続き励ましの声かけをしていただいたり、自主学習等を活用し、予習や復習をしっかり行うことや読書習慣を身に付けていけるよう習慣づけをしていただいたりするなど、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちのさらなる成長を見守っていきたくと考えております。